



短期 ( **短期 青年JV\_A** )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日: 2018 年 11 月 14 日

要請番号 ( JA 224 - 18 - 4 - 02 )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C107 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 <input type="checkbox"/> 日系	<input type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	長期	短期
ドミニカ共和国	病虫害対策			<input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input checked="" type="radio"/> 6ヶ月	/
配属	1) 受入省庁名 (日本語) 農務省				
属	2) 配属機関名 (日本語) 農務省農牧普及研修課アフリカマイマイ駆除班		<input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 日系社会		
機	3) 任地 (アルタグラシア県イグエイ市) JICA事務所の所在地 ( サントドミンゴ特別区 )				
関	任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 ( バス で約 3 時間)				
概	4) 配属機関の規模・事業内容 農務省は、当国の国家農業開発計画に基づき農業政策を定め、執行する国家機関であり、農業・牧畜分野の競争力向上、生産者の収入向上と生活改善を担っている。職員数は約10,000名、年間予算は約1億5000万米ドルである。これまで30名以上のJICAボランティアが農務省関連組織で活動してきた。配属先においては農牧普及研修課長を筆頭に、イグエイ市農業研修所内事務所を拠点にアフリカマイマイ駆除班が構成されている。2018年度の年間予算は約80万米ドル。2019年度春募集で長期JVを要請中。				
要	1) 要請理由・背景 2016年末にアルタグラシア県ババロ、プンタ・カナ市を中心にアフリカマイマイの生息が確認されてから、瞬く間に同県約1,000Haまで広範囲に増殖した。現状は、主に住宅地や観光地でその多くが確認されているが、同種の驚異的な繁殖力により、農作物への被害も発生してきている。更に、人間へ重篤な疾病を引き起こす寄生虫(広東住血線虫)の中間宿主として危険性が高く、農務大臣の特命案件として2018年1月にアフリカマイマイ駆除班が立ち上げられ、本格始動している。これまで、地域ごとに駆除チームが結成され、調査分析、捕獲、処分、予防対策を行ってきた結果、一定の成果を得た地域もあるが、依然として17か所以上の集中生殖地がある等、課題は山積みである。駆除班の多くは専門知識が乏しく、根本的な根絶には新たな施策が必要であると関係者は認識していることから、要請に至った。				
請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 任期終了後に派遣予定の長期JVに引き継ぐことを念頭に置きながら、以下の活動を行う。 1. 駆除チームの担当技師及び構成員と協働しながら、生態系や自然環境、人的に悪影響を最小限に抑えたアフリカマイマイを根絶させる方法を確立するための協力活動を行う。				
概	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 イグエイ市郊外農業研修所内アフリカマイマイ駆除班事務所(執務室、PC・プリンター等機器、ラボ、寄宿部屋、公用車等)				
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 アフリカマイマイ駆除班 農務省農牧普及研修課長(男性、サントドミンゴ) (以下、イグエイ市)事務所員4名、駆除担当技師4名(内、3名は農業技師) CP: 駆除担当技師リーダー(58歳、男性、農業薬品管理専門) 駆除構成員約70名 その他、学校、ホテル等、地域住民約500名		5) 活動使用言語 ( スペイン語 ) 6) 生活使用言語 ( スペイン語 ) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)		
資	資格条件等 ・ 免許/資格等 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 備考: ・ 学歴 ( ) ( ) 備考: ・ 経験 ( 実務経験 ) ( 2年以上 ) 備考: 活動に必要であるため ・ 軟体動物等の調査研究・駆除経験		任地での乗物利用の必要性 <input checked="" type="radio"/> 不要 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 四輪自動車 単車: 青年のみ可 四輪車: SVのみ可 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外		
地域	気候 ( 熱帯モンスーン気候 ) 気温 ( 18~34 °C位)		電気 ( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
概況	通信 ( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )		水道 ( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
特記事項	ボランティアの住居は原則ホームステイとなる。				



短期 ( **短期 青年JV\_A** )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日: 2018 年 11 月 14 日

要請番号 ( <b>JA 224 - 18 - 4 - 03</b> )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C107 )	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 <input type="checkbox"/> 日系	<input type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	長期	短期
<b>ドミニカ共和国</b>	<b>病虫害対策</b>			<input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input checked="" type="radio"/> 6ヶ月	/
配属	1) 受入省庁名 (日本語) <b>農務省</b>				
属	2) 配属機関名 (日本語) <b>農務省農牧普及研修課アフリカマイマイ駆除班</b>		<input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 日系社会		
機	3) 任地 ( <b>アルタグラシア県イグエイ市</b> ) JICA事務所の所在地 ( <b>サントドミンゴ特別区</b> )				
関	任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 ( <b>バス</b> で約 <b>3</b> 時間)				
概	4) 配属機関の規模・事業内容 農務省は、当国の国家農業開発計画に基づき農業政策を定め、執行する国家機関であり、農業・牧畜分野の競争力向上、生産者の収入向上と生活改善を担っている。職員数は約10,000名、年間予算は約1億5000万米ドルである。これまで30名以上のJICAボランティアが農務省関連組織で活動してきた。配属先においては農牧普及研修課長を筆頭に、イグエイ市農業研修所内事務所を拠点にアフリカマイマイ駆除班が構成されている。2018年度の年間予算は約80万米ドル。2019年度春募集で長期JVを要請中。				
要	1) 要請理由・背景 2016年末にアルタグラシア県ババロ、プンタ・カナ市を中心にアフリカマイマイの生息が確認されてから、瞬く間に同県約1,000Haまで広範囲に増殖した。現状は、主に住宅地や観光地でその多くが確認されているが、同種の驚異的な繁殖力により、農作物への被害も発生してきている。更に、人間へ重篤な疾病を引き起こす寄生虫(広東住血線虫)の中間宿主として危険性が高く、農務大臣の特命案件として2018年1月にアフリカマイマイ駆除班が立ち上げられ、本格始動している。これまで、地域ごとに駆除チームが結成され、調査分析、捕獲、処分、予防対策を行ってきた結果、一定の成果を得た地域もあるが、依然として17か所以上の集中生殖地がある等、課題は山積みである。駆除班の多くは専門知識が乏しく、根本的な根絶には新たな施策が必要であると関係者は認識していることから、要請に至った。				
請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 任期終了後に派遣予定の長期JVに引き継ぐことを念頭に置きながら、以下の活動を行う。 1. 駆除チームの担当技師及び構成員と協働しながら、生態系や自然環境、人的に悪影響を最小限に抑えたアフリカマイマイを根絶させる方法を確立するための協力活動を行う。				
概	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 <b>イグエイ市郊外農業研修所内アフリカマイマイ駆除班事務所(執務室、PC・プリンター等機器、ラボ、寄宿部屋、公用車等)</b>				
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 <b>アフリカマイマイ駆除班 農務省農牧普及研修課長(男性、サントドミンゴ) (以下、イグエイ市)事務所員4名、駆除担当技師4名(内、3名は農業技師) CP: 駆除担当技師リーダー(58歳、男性、農業薬品管理専門) 駆除構成員約70名 その他、学校、ホテル等、地域住民約500名</b>		5) 活動使用言語 ( <b>スペイン語</b> ) 6) 生活使用言語 ( <b>スペイン語</b> ) 7) 選考指定言語 <b>英語</b> (レベル: D) 又は <b>スペイン語</b> (レベル: D)		
資	・ 免許/資格等 ( ) 又は ( ) ・ 性別 ( ) 備考: ・ 学歴 ( ) ( ) 備考: ・ 経歴 ( <b>実務経験</b> ) ( <b>2年以上</b> ) 備考: 活動に必要であるため ・ <b>軟体動物等の調査研究・駆除経験</b>		任地での乗物利用の必要性 <input checked="" type="radio"/> 不要 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 四輪自動車 <small>単車: 青年のみ可 四輪車: SVのみ可</small>		
格			現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 <small>春募集時のみ適用 SVは通年対象外</small>		
条					
件					
等					
地	気候 ( <b>熱帯モンスーン気候</b> ) 気温 ( <b>18~34</b> °C位)		電気 ( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
域	通信 ( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )		水道 ( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし )		
概					
況					
特	ボランティアの住居は原則ホームステイとなる。				
記					
事					
項					



短期 ( **短期 青年JV\_A** )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日: 2019 年 1 月 8 日

要請番号( <b>JA 545 - 18 - 4 - 02</b> )		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C107 )	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 <input type="checkbox"/> 日系	<input type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	長期	短期
<b>ウガンダ</b>	<b>病虫害対策</b>			<input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input checked="" type="radio"/> 9 ヶ月	/
配属	1) 受入省庁名 (日本語) <b>農業・畜産・水産省</b>				
属	2) 配属機関名 (日本語) <b>国立作物資源研究所</b>		<input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 日系社会		
機	3) 任地( <b>ワキソ県ナムロンゲ</b> ) JICA事務所の所在地( <b>カンパラ</b> )				
関	任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間( <b>バス</b> で約 <b>1</b> 時間)				
概	4) 配属機関の規模・事業内容 農業分野の研究・技術開発を行う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある配属先は、食用作物全般の拠点研究機関である。JICAは稲作普及を目的に同研究所が実施するコメの品種試験、稲作技術に関する研修や種子の配付等の実施を支援している。JICAは2004年から個別専門家を継続的に派遣しており、2008年からは「ネリカ米振興プロジェクト」を実施した。現在、コメの増産を目的とする「コメ振興プロジェクト」(2011-2018年度、2019年4月よりフェーズ2開始予定)が実施されており、JICA専門家が業務を行っている。また食用作物・稲作栽培2名、農林統計1名、農業機械1名の隊員が活動を行っている。				
要	1) 要請理由・背景 2008年に開催された東京アフリカ開発会議において、サブサハラアフリカのコメ生産を2018年までに倍増させることが目標に掲げられた。ウガンダ国においても食糧安全保障の確保、農家の所得向上を通じた貧困削減のために一層の稲作普及が求められている。現在、配属先では現地職員たちがJICA専門家の協力のもと、品種改良や栽培方法の改善のための圃場での試験、種子増産などを行っている。前任者(2019年1月帰国)は、DNAマーカーを用いた病害抵抗性の遺伝が世代の更新時に導入されたかを確認する試験を行い、その手法が配属先で実施できるよう手法・体制の確立を目指して活動していた。またコメの害虫被害の調査、農薬の効果に関する試験、また現地のコメ品種のいもち病への耐性に関する試験を行った。配属先は、これらの活動が発展的に継続されることを期待しており、短期隊員の派遣を要請している。				
請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. イネの病気に関する調査・試験の実施(特にDNAマーカーを使用した病害抵抗性を持つ新品種の育種に携わる) 2. 害虫の発生予察を行うための害虫発生状況、および被害率の継続的な調査 3. 各地で稲作普及を行うコミュニティ開発隊員への助言 ※活動時にJICA専門家から技術的な助言を得ることも可能である。				
概	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 <b>電気泳動装置、ゲル撮影装置、サーマルサイクラー、超微量分光光度計、イネの試験圃場、虫取り網</b>				
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・研究所長:1名(男性、50代) ・稲作試験に関わる研究員:12名 ・病虫害に関する研究員が1名(男性、40代、博士号) ・研究所圃場の作業員:多数		5) 活動使用言語 ( <b>英語</b> ) 6) 生活使用言語 ( <b>英語</b> ) 7) 選考指定言語 <b>英語</b> (レベル: D) 又は (レベル: )		
資	・免許/資格等 ( ) 又は ( )		任地での乗物利用の必要性		
格	・性別 ( ) 備考:		<input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 四輪自動車 単車:青年のみ可 四輪車:SVのみ可		
条	・学歴 ( <b>大卒</b> ) ( <b>農学系</b> ) 備考:専門的な試験を行うため				
件	・経歴 ( ) ( ) 備考:				
等	・		現職教員特別参加制度		
	・		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 <b>春募集時のみ適用</b> <b>SVは通年対象外</b>		
地域	気候(サバナ気候) 気温( <b>15~30</b> °C位)		電気( <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
概況	通信( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 )		水道( <input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	2階建て一軒家(個室あり、台所などを共有)で他のボランティアと共同生活を行うこととなる。				